

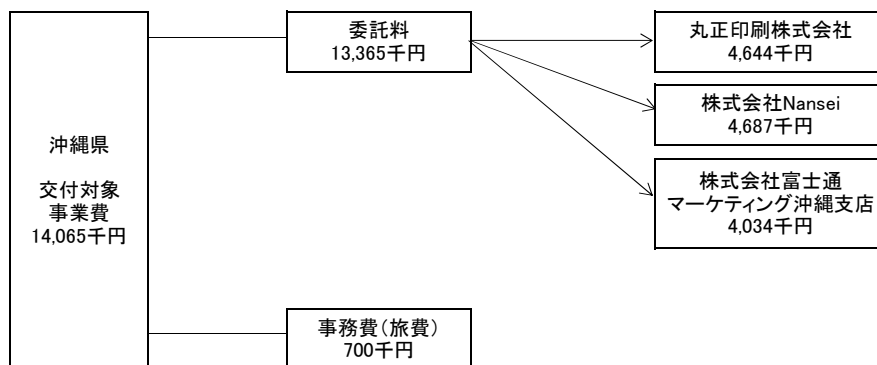
## 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	56 「戦世の記憶」平和発信強化事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-4-(2)-ウ アジア・太平洋地域の安定と平和に資する平和・人権協力外交の展開				
担当部課名	子ども生活福祉部平和援護・男女参画課(平和祈念資料館)	事業実施(予定)年度	H28 ~ H30 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-7	
事業内容	沖縄戦の記憶の次世代への継承及び「沖縄の心」を世界に発信するため戦争体験に係る証言の収録・発信を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
予算額・執行額 【単位:千円】		H28年度	H28年度(繰越)	H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	45,762		30,000		24,242
		(b) 予算現額	27,732		30,000		24,242
		(c) 増減額(b-a)	▲ 18,030	0	0	0	0
		(d) 前年度繰越額					
		A. 計(b+d)	27,732	0	30,000	0	24,242
	B. 執行済額		27,541		22,140		14,065
	うち交付金充当額		22,033		17,712		11,252
	C. 次年度繰越額		0		0		0
	執行率(%) (B/A)		99.3%	#DIV/0!	73.8%	#DIV/0!	58.0%
予算の状況の説明		・予算額は戦争体験証言の収録、デジタル化等に係る委託料を計上した。 ・執行率58.0%については、委託料の入札残が生じたためである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	戦争体験者多言語化証言文(70名)及び多言語化証言映像(70名)の公開(館内閲覧・WEB)	目標				70名・公開	
		実績				70名・公開済	
	国内2カ所「成果報告展」	目標				2カ所	
実績					2カ所		
達成状況説明	戦争体験者計70名分の証言を収録し、資料館HPにて3月より公開した。また、沖縄戦について、神奈川県川崎市及び大阪市にて移動展を開催した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(〇〇年度)
	年度別入館者数における有料観覧のうち、外国出身入館者数が17,000人以上となる。【基準年(H28)14,034人】	目標	-			14,034人	-
		実績	-			17,065人	-
	当館ホームページのアクセス(ログ)件数のうち多言語化ページへのアクセス(ログ)件数の月平均	目標	-			1,215アクセス	-
		実績	-			6,718アクセス	-
	沖縄戦について理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケート調査により検証する。	目標	-			80%以上	-
		実績	-			92.5%	-
進捗状況説明	入館者については、外国出身入館者が平成28年度比で3,031名増となり、目標を達成した。多言語化を進めた結果、海外からの来館者も展示内容や戦争体験者の証言を理解できるようになり、平和発信力の強化につながった。また、県外で開催した成果報告展に関するアンケートについても、沖縄戦への理解を深めるとともに、平和への願いを訴える声が多く寄せられる結果となっている。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・沖縄戦体験者の証言を多言語化し、資料館HPにて公開済みのほか、展示室でも閲覧出来るようにしたが、公開期間がまだ短いため(3月公開)、平和発信への程度寄与しているのか、今後も検証が必要であると考え。</p>	<p>・館内での利用状況を見ると、比較的若い世代を中心に多言語証言ビデオを閲覧している状況であるが、今後はより多くの世代に利用してもらえるよう、PR方法や閲覧しやすいよう利便性の向上を検討していく。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・多言語化証言映像を教育現場での平和教育等で利用してもらえるよう周知を行い、沖縄戦の教訓や戦争体験者の声を次代に継承できるよう努めることで、本件の平和への発信力を高めていく。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
14,065	14,065	11,252	2,813	0	0	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は一般競争入札により選定しており、妥当である。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○入札の結果、執行残(10,177千円)が生じた。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途が必要なものに限定されているかについては、支出等に関する書類により確認しており、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	